



# APPENDIX **B**

## 適合宣言および規制情報

---

この付録では、Cisco Aironet 1552 屋外メッシュ アクセス ポイントに関する適合宣言と規制情報について説明します。

この付録の内容は、次のとおりです。

- [製造業者による連邦通信委員会への適合宣言 \(B-2 ページ\)](#)
- [Industry Canada \(カナダ産業省\) \(B-3 ページ\)](#)
- [欧州共同体、スイス、ノルウェー、アイスランド、およびリヒテンシュタイン \(B-4 ページ\)](#)
- [RF 被曝に関する適合宣言 \(B-6 ページ\)](#)
- [Cisco Aironet アクセス ポイントの使用に関するガイドライン \(日本の場合\) \(B-7 ページ\)](#)
- [日本向け VCCI 宣言 \(B-8 ページ\)](#)
- [台湾における Cisco Aironet アクセス ポイントに関する行政規定 \(B-9 ページ\)](#)
- [EU 適合宣言 \(B-11 ページ\)](#)

# 製造業者による連邦通信委員会への適合宣言



モデル: FCC 認証番号:

AIR-CAP1552SA/SD-A-K9 LDK102074P

AIR-CAP1552H-A-K9

AIR-CAP1552WU-x-K9

## 製造業者:

Cisco Systems, Inc.  
170 West Tasman Drive  
San Jose, CA 95134-1706  
USA

このデバイスは、Part 15 の規定に適合しており、動作は次の 2 つの条件を前提としています。

1. このデバイスによって、有害な干渉が発生することはない。
2. このデバイスは、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉も含め、すべての干渉を受け入れなければならない。

この機器は、FCC 規定の Part 15 に基づくクラス B デジタル デバイスの制限に準拠していることがテストによって確認済みです。制限は、住宅地で機器を使用した場合に有害な干渉が起きないようにするための、一定の保護を目的としたものです。この機器は無線周波エネルギーを生成、使用、および放射するため、指示に従わずに取り付けたり使用したりした場合は、有害な干渉を発生させるおそれがあります。ただし、説明書に従った場合にも、干渉が起きないことを保証するものではありません。この機器によってラジオやテレビの受信に干渉が発生する場合は（機器の電源をオン/オフすることで確認できます）、次のいずれかの方法で干渉をなくすようにしてください。

- 受信アンテナの向きを変えるか、場所を移動します。
- 機器と受信装置の距離を広げる。
- 受信装置が接続されている回路とは別の回路のコンセントに機器を接続する。
- 販売店またはラジオやテレビの専門技術者に問い合わせる。



注意

Part 15 に適合した無線デバイスは、シスコが提供するアンテナを使用している場合は、当該周波数で動作する他のデバイスと干渉のない状態で動作します。シスコによる明確な許可なしに製品への変更を行った場合、ユーザはこのデバイスの使用を禁止されることがあります。



注意

規制の制約事項を満たすには、専門の担当者がアクセス ポイントを設置する必要があります。

# Industry Canada (カナダ産業省)

モデル: IC 認証番号:

AIR-CAP1552SA/SD-A-K9 2461B-102074P

AIR-CAP1552H-A-K9

AIR-CAP1552WU-x-K9

## カナダの適合宣言

この Class B のデジタル機器は、Canadian Interference-Causing Equipment Regulations のすべての要件を満たしています。

Cet appareil numérique de la classe B respecte les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

このデバイスはカナダ産業省の Class B の制限に適合しています。次の 2 つの条件に従って動作するものとします。

1. 本製品が、有害な干渉を発生することはありません。および、
2. 本製品は、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含む、すべての干渉を受け入れなければなりません。

Cisco Aironet アクセス ポイントは、RSS-210 の要件を満たしています。部分的または完全に屋外で動作するシステムでこのデバイスを使用する場合、ユーザはカナダの規定に従ってそのシステムの免許を取得しなければならないことがあります。詳細については、最寄のカナダ産業省事務局へお問い合わせください。

1552H デバイスは、2.4 GHz の場合は 4 dBi、5 GHz の場合は 7 dBi の最大ゲインを得るアンテナを使用するよう設計されています。最大ゲインを超えるアンテナをこのデバイスで使用することは固く禁じられています。アンテナに要求されるインピーダンスは 50 Ω です。

1552SA/1552SD デバイスは、802.11 の場合は 4 dBi、2.4 GHz 帯域のセンサー (802.15.4) 無線の場合は 14 dBi、5 GHz 帯域では 7 dBi の最大ゲインを得るアンテナを使用するよう設計されています。最大ゲインを超えるアンテナをこのデバイスで使用することは固く禁じられています。アンテナに要求されるインピーダンスは 50 Ω です。

他のユーザへの干渉を減らすために、Equivalent Isotropically Radiated Power (EIRP; 等価等方放射電力) が正常な通信に必要な値を超えないようにアンテナの種類とゲインを選択してください。

## RF 被曝に関する適合宣言

このアクセス ポイントは、無線周波数電磁場における人体の被曝に関する FCC ガイドラインに従って評価され、無線周波デバイスによる RF 被曝の影響に関する CFR 47 第 1.1307 項の要件を満たすことが判明しています。アンテナは、設置担当者または周囲の人から 20 cm (7.9 インチ) 以上離して設置する必要があります。

このアクセス ポイントは、RF 被曝に関する EN 50835 にも準拠しています。

# 欧州共同体、スイス、ノルウェー、アイスランド、およびリヒテンシュタイン

アクセス ポイント モデル:

AIR-CAP1552H-E-K9  
 AIR-CAP1552SA-E-K9  
 AIR-CAP1552SD-E-K9  
 AIR-CAP1552WU-E-K9

## R&TTE 指令 (1999/5/EC) および Medical 指令 (93/42/EEC) に関する適合宣言

この宣言は、シスコシステムズが提供およびサポートしているソフトウェア、ファームウェア、およびハードウェアを組み合わせた構成にのみ適用されます。シスコシステムズが提供およびサポートしているソフトウェアやファームウェアを使用していない場合、本装置が法的要件を満たせなくなる場合があります。

この装置は、指令 (1999/5/EC) の重要な要件およびその他の関連条項を順守しています。

次の規格が適用されています。

EMC: EN 301.489-1 v1.8.1, EN 301.489-17 v2.1.1  
 安全性: EN60950-1: 2005, EN 50385: 2002  
 無線: EN 300 328 v 1.7.1, EN 301.893 v 1.5.1

指令 1999/5/EC の第 10.4 項および別紙 III の適合性評価手順を順守しています。

このデバイスは、Medical 指令 (93/42/EEC) の EMC 要件にも準拠しています。



注

本装置は、EU および EFTA 各国で使用することを目的としています。屋外での使用は、一定の周波数に制限されたり、また使用にあたっては資格が必要となる場合があります。詳細は、Cisco Corporate Compliance にお問い合わせください。

この製品には、次の CE マークが貼付されています。



# ブラジルにおける Cisco Aironet アクセス ポイントの使用

ここでは、ブラジルにおける Cisco Aironet アクセス ポイントの使用に関する情報を示します。

## アクセス ポイント モデル

AIR-CAP1552H-E-K9

AIR-CAP1552SA-E-K9

AIR-CAP1552SD-E-K9

AIR-CAP1552WU-E-K9

## 規制情報

図 1 は、前述したアクセス ポイント モデルのブラジル規制情報を示しています。

図 1 ブラジル規制情報



2274-11-1086



(01)07898362232855

3308155

## RF 被曝に関する適合宣言

米国、カナダ、欧州連合、およびオーストラリアの RF 被曝に関する適合宣言を次に示します。

### 米国

ANSI C 95.1 (American National Standards Institute; 米国規格協会) の制限値を基準として、人体に対する RF 被曝レベルが評価されています。この評価は ANSI C 95.1 および FCC OET Bulletin 65C rev 01.01 に基づいています。適合性を維持するために、アンテナは人体から 20 cm (7.9 インチ) 以上の距離をあけて設置する必要があります。

### カナダ

ANSI C 95.1 (American National Standards Institute; 米国規格協会) の制限値を基準として、人体に対する RF 被曝レベルが評価されています。この評価は RSS-102 Rev 2 に基づいています。適合性を維持するために、アンテナは人体から 20 cm (7.9 インチ) 以上の距離をあけて設置する必要があります。

### 欧州連合

国際非電離放射線防護委員会 (ICNIRP) の制限値を基準として、人体に対する RF 被曝レベルが評価されています。この評価は、300 MHz ~ 40 GHz の EN 50385 Product Standard to Demonstrate Compliance of Radio Base Stations and Fixed Terminals for Wireless Telecommunications Systems with basic restrictions or reference levels related to Human Exposure to Radio Frequency Electromagnetic Fields (無線周波数の電磁場が人体に及ぼす影響に関連する基本規定または基準レベルに対する、無線通信システム用の無線のベースステーションおよび固定端末ステーションの準拠を示す製品規格) に基づいています。アンテナは人体から 20 cm (7.9 インチ) 以上の距離をあけて設置する必要があります。ダイバーシティ用のデュアルアンテナは、同じ場所への設置とは見なされません。

### オーストラリア

オーストラリア放射線防護基準および国際非電離放射線防護委員会 (ICNIRP) の制限値を基準として、人体に対する RF 被曝レベルが評価されています。アンテナは人体から 20 cm (7.9 インチ) 以上の距離をあけて設置する必要があります。

# Cisco Aironet アクセスポイントの使用に関するガイドライン(日本の場合)

この項では、日本で Cisco Aironet アクセスポイントを使用する際に、干渉を回避するためのガイドラインを示します。このガイドラインは、日本語と英語で提供されています。

## Lightweight アクセスポイント モデル:

AIR-CAP1552SA/SD-Q-K9

AIR-CAP1552H-Q-K9(POE 入力設定専用)

## 日本語

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等(例えば、パーティションの設置など)についてご相談して下さい。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせ下さい。

連絡先 : 03-6434-6500

43768

## English Translation

This equipment operates in the same frequency bandwidth as industrial, scientific, and medical devices such as microwave ovens and mobile object identification (RF-ID) systems (licensed premises radio stations and unlicensed specified low-power radio stations) used in factory production lines.

1. Before using this equipment, make sure that no premises radio stations or specified low-power radio stations of RF-ID are used in the vicinity.
2. If this equipment causes RF interference to a premises radio station of RF-ID, promptly change the frequency or stop using the device; contact the number below and ask for recommendations on avoiding radio interference, such as setting partitions.
3. If this equipment causes RF interference to a specified low-power radio station of RF-ID, contact the number below.

Contact Number: 03-6434-6500

## 日本語

日本の防爆認定に関する指定注意事項は以下の通りです。(AIR-CAP1552H-Q-K9のみ)

- 1 装置に接続される各種ケーブルは65°C以上の耐熱ケーブルを使用してください。
- 2 本装置の入出力ポートには以下のケーブルグランド・ブラインドプラグを使用します。  
(2017年1月現在の防爆認定指定部品)  
Fiber Port及びPoEポートのケーブルグランド  
セフテック電装株式会社製 耐圧ケーブルグランドSFGU10-M-ES  
セフテック電装株式会社製 ブラインドプラグPXN10-M20
- 3 アンテナの脱着は爆発性雰囲気中・危険場所では行わないでください。

## English Translation

Specific notes on Japan explosion-proof certification are as follows. AIR-CAP1552H-Q-K9 (POE input configuration only).

1. Use a heat-resistant cable of 65 degree or higher for various cables connected to the equipment.
2. This model uses the following cable gland / blind plug for the input / output port of this unit.

(TIIS Certified parts as of Jan/2017)

For Cable ground of Fiber Port and PoE port

Cable Grand: Ceftec Electric Co., Ltd. SFGU 10-M-ES  
Blind plug: Ceftec Electric Co., Ltd. PXN10-M20

3. Do not attach / detach the antenna in an explosive atmosphere or in a dangerous place.

## 日本向け VCCI 宣言



Warning

**This is a Class B product based on the standard of the VCCI Council. If this equipment is used near a radio or television receiver in a domestic environment, it may cause radio interference. Install and use the equipment according to the instruction manual.**

警告

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

# 台湾における Cisco Aironet アクセス ポイントに関する行政規定

ここでは、台湾における Cisco Aironet アクセス ポイントの使用に関する行政規定を示します。この規定は、中国語と英語で提供されています。

## 中国語

### 低功率電波輻射性電機管理辦法

第十二條 經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。

第十四條 低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。

前項合法通信，指依電信法規定作業之無線電信。

低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

127048

## English Translation

### Administrative Rules for Low-power Radio-Frequency Devices

#### Article 12

For those low-power radio-frequency devices that have already received a type-approval, companies, business units or users should not change its frequencies, increase its power or change its original features and functions.

#### Article 14

The operation of the low-power radio-frequency devices is subject to the conditions that no harmful interference is caused to aviation safety and authorized radio station; and if interference is caused, the user must stop operating the device immediately and can't re-operate it until the harmful interference is clear.

The authorized radio station means a radio-communication service operating in accordance with the Communication Act.

The operation of the low-power radio-frequency devices is subject to the interference caused by the operation of an authorized radio station, by another intentional or unintentional radiator, by industrial, scientific and medical (ISM) equipment, or by an incidental radiator.

## Chinese Translation

### 低功率射頻電機技術規範

#### 4.7 無線資訊傳輸設備

4.7.6 無線資訊傳輸設備須忍受合法通信之干擾且不得干擾合法通信；如造成干擾，應立即停用，俟無干擾之虞，始得繼續使用。

4.7.7 無線資訊傳輸設備的製造廠商應確保頻率穩定性，如依製造廠商使用手冊上所述正常操作，發射的信號應維持於操作頻帶中。

209139

## English Translation

### Low-power Radio-frequency Devices Technical Specifications

#### 4.7

#### Unlicensed National Information Infrastructure

#### 4.7.6

The U-NII devices shall accept any interference from legal communications and shall not interfere the legal communications. If interference is caused, the user must stop operating the device immediately and can't re-operate it until the harmful interference is clear.

## 4.7.7

Manufacturers of U-NII devices are responsible for ensuring frequency stability such that an emission is maintained within the band of operation under all conditions of normal operation as specified in the user manual.

## ステートメント 371: 電源ケーブルおよび AC アダプタ

接続ケーブル、電源コード、AC アダプタ、バッテリーなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。添付品・指定品以外の部品をご使用になると故障や動作不良、火災の原因となります。また、電気用品安全法により、当該法の認定（PSE とコードに表記）でなく UL 認定（UL または CSA マークがコードに表記）の電源ケーブルは弊社が指定する製品以外の電気機器には使用できないためご注意ください。

### English Translation

When installing the product, please use the provided or designated connection cables/power cables/AC adapters. Using any other cables/adapters could cause a malfunction or a fire. Electrical Appliance and Material Safety Law prohibits the use of UL-certified cables (that have the “UL” shown on the code) for any other electrical devices than products designated by CISCO. The use of cables that are certified by Electrical Appliance and Material Safety Law (that have “PSE” shown on the code) is not limited to CISCO-designated products.

### EU 適合宣言

本製品に関するすべての適合宣言は、次の場所から参照できます。

<http://www.ciscofax.com>

■ 台湾における Cisco Aironet アクセス ポイントに関する行政規定